

# 令和2年度 全県教育課程説明会 「図画工作科」部会（小学校）

## 1 図画工作科の改訂のポイント

旧学習指導要領 平成20年告示

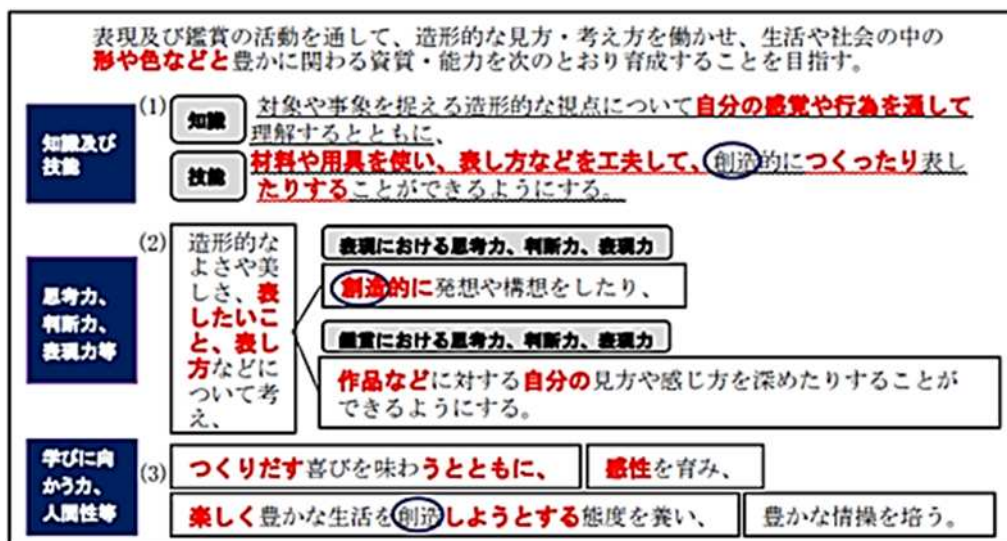
【教科の目標】 表現及び鑑賞の活動を通して、感性を働かせながら、つくりだす喜びを味わうようにするとともに、造形的な創造活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。

### <改訂の要点>

- ・ 感性や想像力等を働かせて、表現したり鑑賞したりする資質・能力を相互に関連させながら育成できるように、内容の改善を図る。
- ・ 生活を美しく豊かにする造形や美術の働き、美術文化についての理解を深める学習の充実を図る。

小学校図画工作科の目標と「造形的な見方・考え方」等

小学校図画工作科の目標 「改訂（平成29年告示）（「教育課程編成の指針」◆P.39）」



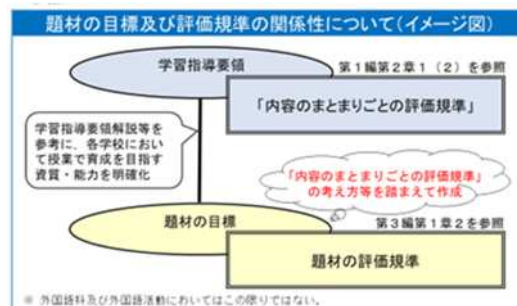
※ (1)、(2)、(3)を相互に関連させながら育成できるように整理された。

- 造形的な見方・考え方とは、「感性や想像力を働かせ、対象や事象を、形や色などの造形的な視点で捉え、自分のイメージをもちながら意味や価値をつくりだすこと」であると考えられる。(解説 p.11)
- 作品や活動は、表現した人そのものの表れであり、作品や活動をつくりだすということは、かけがえのない自分を見いだしたりつくりだしたりすることだといえる。このことは全ての活動において大切にしなければならないことである。(解説 p.24)

## 2 学習評価について（参考資料：『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料）★

### 評価の進め方

- 1 題材の目標を作成する
- 2 題材の評価規準を作成する
- 3 「指導と評価の計画」を作成する  
<授業を行う>
- 4 観点ごとに総括する



### (1) 「内容のまとまりごとの評価規準」作成のポイント

※小学校図画工作科における「内容のまとまり」

- 造形遊び・・・「A表現」(1)ア, (2)ア, [共通事項] (1)ア, イ
- 絵や立体, 工作・・・「A表現」(1)イ, (2)イ, [共通事項] (1)ア, イ
- 鑑賞・・・「B鑑賞」(1)ア, [共通事項] (1)ア, イ

➤造形遊び or ➤絵や立体, 工作

○「知識・技能」のポイント

「知識」について

- ・「知識」は, [共通事項] (1)アから作成する。
- ・文末は, 学習の状況の評価することを踏まえて「~している」とする。

「技能」について

- ・「技能」は, 「A表現」(2)ア or イから作成する。
- ・文頭の「造形遊びをする活動を通して,」 or 「絵や立体, 工作に表す活動を通して,」は, 「内容のまとまり」を示すものなので削除する。
- ・文末は, 学習の状況の評価することを踏まえて「~している」とする。

○「思考・判断・表現」のポイント

- ・「思考・判断・表現」は, 「A表現」(1)ア or イ, [共通事項] (1)イから作成する。  
[共通事項] (1)イに続けて「A表現」(1)ア or イを示し, 「自分のイメージをもつ。」を「自分のイメージをもちながら,」とする。
- ・「A表現」(1)ア or イの文頭の「造形遊びをする活動を通して,」 or 「絵や立体, 工作に表す活動を通して,」は, 「内容のまとまり」を示すものなので削除する。
- ・「A表現」(1)アの「造形的な活動を思い付くことや,」を「造形的な活動を思い付き,」とする。 or 「A表現」(1)イの「表したいことを見付けることや,」を「表したいことを見付け,」とする。
- ・文末は, 学習の状況の評価することを踏まえて「~している」とする。

○「主体的に学習に取り組む態度」のポイント

- ・「主体的に学習に取り組む態度」は, 当該学年の「観点の趣旨」を踏まえて作成する。
- ・「表現したり鑑賞したりする学習活動」を「表現する学習活動」とする。

➤鑑賞

○「知識・技能」のポイント

- ・鑑賞する活動については「知識・技能」のうち「知識」を評価する。「知識」は [共通事項] (1)アから作成する。
- ・文末は, 学習の状況の評価することを踏まえて「~している」とする。

○「思考・判断・表現」のポイント

- ・「思考・判断・表現」は, 「B鑑賞」(1)ア, [共通事項] (1)イから作成する。[共通事項] (1)イに続けて「B鑑賞」(1)アを示し, 「自分のイメージをもつ。」を「自分のイメージをもちながら,」とする。
- ・B鑑賞(1)アの文頭の「~を鑑賞する活動を通して,」は, 「内容のまとまり」を示すものなので削除する。
- ・文末は, 学習の状況の評価することを踏まえて「~している」とする。

○「主体的に学習に取り組む態度」のポイント

- ・「主体的に学習に取り組む態度」は, 当該学年の「観点の趣旨」を踏まえて作成する。
- ・「表現したり鑑賞したりする学習活動」を「鑑賞する学習活動」とする。

(2)「題材ごとの学習評価」について (事例)

事例1	「のこぎりザクザク生まれる形」(第3学年)	指導と評価の計画から評価の総括まで
事例2	「ひらいたはこから」(第2学年)	「思考・判断・表現」の評価
事例3	「花に心をこめて」(第4学年)	「主体的に学習に取り組む態度」の評価
事例4	「中庭再発見プロジェクト」(第6学年)	造形遊びをする活動の評価, 「思考・判断・表現」の評価, 評価方法の工夫

【参考資料】

- ≪文部科学省 国立教育政策研究所≫ ・『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料」★  
 ≪神奈川県教育委員会≫ ・「教育課程編成の指針」◆ ・「カリキュラム・マネジメントの一環としての指導と評価」  
 ・「学習評価を踏まえた授業づくりの道すじ」